

KIFA Report

河内長野市国際交流協会

97

Apr. 2016



(ボランティア・市民活動 フェスティバル会場にて)

- デンマークの高校生を迎えて
- 国際料理教室 ～インドネシア編～
- 早稲田大学留学生と あ・そ・ぼ・う！
- ボランティア・市民活動 フェスティバル
- 第3回 世界情勢 ここに注目！
- 日本語サロンオープンデー
- ヤングアメリカンズ情報
- ネパール文具支援
- コンニチハ！ 日本語サロンです



Denmark

デンマークの高校生を迎えて



大阪YMCAインターナショナルハイスクールとデンマークの高校との交流の一環で、20人の高校生が来日し、河内長野で3泊4日のホームステイを体験しました。

滞在中、長野高校と清教学園を訪問しましたが、各校でそれぞれ学校の特徴を生かし、上手に飽きさせない内容を考えてくださって、素晴らしい交流になりました。デンマークの生徒がクラスの中に入って、生徒同士が互いに母国語ではない英語を使ってディスカッションするなど、とても自然に楽しく積極的に交流する姿に感動しました。英語の先生も「こんな交流をさせていただけるなんて」とKIFAの活動に感謝の言葉をくださいました。これもこれまでのフィリピン、レトラン学院の学生との交流経験と、いつもご協力いただいているホストファミリーの皆さんの温かいおもてなしのお蔭と感謝し楽しい時間をいただきました。

交流活動事業部 榎村博子



国際料理教室

Indonesia

2月6日 市民交流センター 食工房

～インドネシア編～

「スラムット パギィ」(おはようございます)

講師のラリタ・アヌバワストゥティさんと助手のプジャイさんの挨拶で始まりました。

最初を作るナシ・クニン(黄色いご飯)と、ソト・アヤム(チキンスープ)の作り方を見てから一斉に調理開始です。参加者は初対面の方も多かったのですが、皆さんすぐに打ち解けて話も弾み、調理も助け合って進みます。インドネシアに滞在していた方も数名いて、当時の懐かしい話に花が咲いていました。

いつも以上に男性も多くて、マイエプロンでさっそうと包丁さばきを披露する人もいました。ガドガド(サラダ)、イカン・アサム・パデ(酸味と辛味の魚料理)と次々と出来上がります。コラック・ピサン・ウビ(バナナとサツマイモを使ったデザート)は、黒砂糖の甘さとココナッツミルクの香りがよくて皆さんに好評でした。

ラリタさんからインドネシアのお話を聞きながら試食しました。15,000もの島があり、地域で料理の味付けも異なるのですが、どこでもココナッツミルクやバナナ、黒砂糖をよく使うそうです。ラリタさんは、ジャワ島出身なので、

この日のメニューはジャワの味付けにしてありました。

「おいしい」「野菜がたっぷりとれます」「ヘルシー」「塩分が少なくていい」などの感想や、ココナッツミルクやハーブの質問も次々出ていました。

「テリマカシー」(ありがとう)

「サマサマ」(どういたしまして)

インドネシアの香りに包まれたひと時でした。



早稲田大学留学生とあ・そ・ぼ・う！

3月19日 市民交流センター イベントホール

普段の学生生活では得られない体験を求めて、早稲田大学の留学生がやってきました。出身国は、ルーマニア、ブラジル、イタリアそして中国です。市内滞在中は、ホストファミリーにお世話になりながら、色々な経験をしました。

そのうちの1日を利用して、KIFAでは子どもたちを中心に留学生との交流会を開きました。前半では国別のブースに分かれて、自国の紹介をしました。留学生は皆日本語が堪能なので、子どもたちとのコミュニケーションは問題ありません。用意してきた地図や写真、本などを使って、興味を引き出しながら話を進めていました。後半では、最初にルーマニアの結婚式などのお祝いの時に踊るダンスを教えてもらい、手をつないで大きな輪になって踊りました。国名で遊ぶフルーツバスケットや、留学生が出題した問題に答えるなど、その後も楽しく交流できました。イベントが終わっても、一緒に写真を撮ったり話したりと別れがたい様子でした。



ザッファロニ・アレッシャさん（イタリア）：参加させてもらって、本当に面白くて楽しかったです。



ロ・チョウさん（中国）：子どもたちが純粋で素直で色々質問してくれて良かった。中国でも日本でも今日のような活動をしていきたいと思いました。初めてだけど参加させてもらって良かったと思います。河内長野にまた来たいです。



バウドゥ・アナマリアさん（ルーマニア）：ルーマニアについて少しだけ教えることができて良かったです。とても楽しかったです。

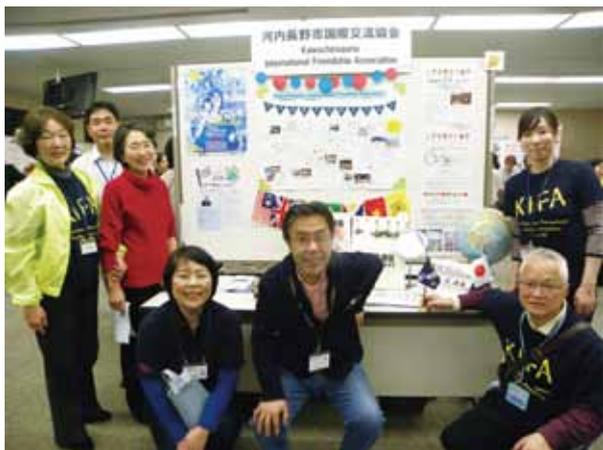


リュウ・ヨウさん（中国）：めちゃ楽しかったです。子どもたちが可愛くて、私の知らないことも知っていて勉強になりました。



エクトル・ニエバ・メロさん（ブラジル）：子どもたちに会って自分の子どもの頃を思い出して懐かしい感じがしました。子どもたちにもブラジルのことを色々教えることができて良かったと思います。

第16回ボランティア・市民活動フェスティバル



～よりよい明日へ～

楽しもう 笑顔でつなぐ ボランティア

2月28日

市民交流センター・るーぷらざ

市内で活動するたくさんのボランティア・市民活動のグループが一堂に会してのお祭りです。KIFAは、活動を紹介する展示で参加しました。語学クラブや交流活動に関心のある方たちから、いろいろ声をかけていただきました。4月末に開催されるヤングアメリカンズのワークショップのポスターも来場者の目を引いていました。ネパール支援のためにおこなった世界各地のアクセサリーの販売も好評！このような機会を通じて、さらに多くの方々に知っていただき、活動の輪を広げていきたいものです。

第3回 世界情勢 ここに注目!

世界各地で起きている最新の出来事を、政治、経済、歴史的に分析する、専門家の講師陣による好評のシリーズ講座が今年も開催されました。

今回は1月23日の第1回を皮切りに3回に亘って開催されました。

- 【1】 1月23日(土)「見聞 - 都市伝説 ニューヨークと深刻化する米社会」
講師:戸塚 信夫 氏(経営コンサルタント)
- 【2】 1月30日(土)「ベトナムの人たちと
その周りの良い環境作りへの取り組み」
講師:前田 泰昭 氏(大阪府立大学名誉教授、ベトナム国家大学特別教員)
- 【3】 2月6日(土)「トルコ、難民問題を解く鍵か?」
講師:堀川 徹 氏 (京都外国語大学教授)



【1】 見聞 - 都市伝説 ニューヨークと深刻化する米社会



普段あまり目にする事のない
ニューヨーク州の地図を見なが
ら、現地に19年住んでおられた
戸塚信夫氏からお話をうかがい
ました。「マンハッタン」「クインズ」
「ブルックリン」「ブロンクス」な
ど映画や海外ドラマによく出てく
る行政区や、「ウエストサイド」
「イーストサイド」「グリニッチヴィ
レッジ」「ソーホー」などの有名
な地名がぎっしり詰まっていま



戸塚 信夫氏

す。国連本部やエンパイアステートビル、国際的な企業の事務所や日本総領事館、9・11事件の舞台となった世界貿易センタービルなど、文化、経済、外交の舞台となる建物がたくさんあります。ニューヨークはアメリカで一番人口密度の高い州で、碁盤の目のようにきちんと区画整理されており電柱の全く無い、アメリカでも珍しいエリアです。また、教育都市でもあり学生だけでなく成人教育として開かれたカリキュラムによる大衆教育も活発で、図書館は24時間オープンだそうです。

アメリカの中心ともいえるニューヨークでも、やはり問題になっているのが格差社会問題です。WASP (White Anglo - Saxon Protestant) と呼ばれる^{ウASP}アングロサクソン系の新教徒の白人が、米国社会で主流を占めています。また、アイビー・リーグと呼ばれる世界屈指の名門私立大学8校をはじめ、アメリカの大学には今でも卒業生の子弟が優先的に入学できるシステムが残っているそうです。一方で、逆差別と呼ばれる現象も問題化しているとのこと。人種などにより差別されて来た人々を進学、求職などで優遇して差別を是正し撤廃しようという動きがあります。その過程で発生した、今度は逆に今まで優遇されて来た人々の待遇や利益、公平感が損なわれるという問題です。人種のるつぼと言われるアメリカ特有の問題かもしれません。

【2】 ベトナムの人たちとその周りの良い環境作りへの取り組み

河内長野在住の前田泰昭氏から、私たちの知らないベトナムについてお話をいただきました。ゆったりと楽しそうな語り口での講演からは、ご本人がベトナムという国が大好きなのが伝わってきました。ベトナムの平均年齢は 20 代後半、アメリカは 30 代後半だそうです。では、日本は…というと、なんと 40 代後半。多分とは思っていましたが、ちょっとショックでした。

ベトナムはまだまだ若い国で、貧困などいろいろな問題がありますが、世界遺産のハロン湾などの環境改善や環境を損なわない自然と共存する形での経済活動と環境教育が同時進行しているそうです。グリーン成長、すなわち自然保護と経済的な発展が共存しなければ意味がないと言われる前田氏が開発された燃料は、現在ハロン湾のすべての遊覧船で使用されています。BDF*の一種のこの燃料を使用することで乗船料は少し高くなったのに、自然に優しいという理由でヨーロッパ人乗客数がかえって増えたというエピソードも紹介されました。また、山岳民族の貧困改善の対策として、植林やバイオマス燃料の製造が進められているそうです。

講演の休憩時間には、大阪府立大学で学んでおられるベトナムの学生が作ってくださった春巻きとハイビスカス茶をいただ



前田 泰昭氏

きました。

ベトナムのカカオが良質のチョコレートの原料として注目されている事、日本でもコンビニの揚げ物を店頭で調理する際



に出る廃油から電気をつくる「バイオマス発電」に取り組んでいる事など、講演を聴いていなかったら見逃してしまったようなニュースが先日報道されました。

※ バイオディーゼルフェューエルの略で、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称

【3】 トルコ、難民問題を解く鍵か？



堀川 徹氏



トルコといえば、まず頭に浮かぶのが観光地カッパドキアや、19 世紀末に和歌山県串本沖で起こったオスマントルコ帝国のエルトゥールル号遭難です。この事故での日本人による献身的な救援活動については、映画にもなっています。最近ではシリアの難民の通過国としてトルコの名前が頻りに報道されています。トルコに 1 年在住されていた堀川徹氏から、トルコとはどういう国なのかを理解するために同国の歴史からお話ししていただきました。

地理的には、現在のトルコ共和国の領土は、古代オリエン文明、古代ギリシアローマ文明、ビザンティン文化、イスラム文化などが栄えた土地で、よく言われる「東西文明の架け橋」というよりは「東西文明の発祥の地」といえる国です。ローマ帝国の首都であったコンスタンチノープルは、現在ではイスタンブールという都市名になっています。位置的にはイスラム圏に属し、国民の大半はイスラム教徒ですが、国家の根幹となる原理として政教分離が断行され、憲法からイスラム教を国教とする条文が削除されました。その歴史から見てトルコは東洋と西洋、アジアとヨーロッパ、イスラム世界とキリスト教世界の間に位置し、それらの「文明の衝突」を克服する架け橋となる可能性を持った国です。シリアからの難民問題にも表れているように多くの民族や宗教の共生についての鍵になる国であるとも言えそうです。





第11回 日本語サロン・オープニング

3月13日
市民交流
センター

日頃日本語サロンで日本語を学んでいる外国人の皆さんのスピーチと歌の発表、それに続いて参加者の皆さんとの歓談交流会が開かれました。発表者はそれぞれ日本についての印象や体験を話してくれましたが、全員が暗記して発表していたのに驚きました。また、発表の中で繰り返し述べられた日本語サロンの「先生」への感謝の言葉に、聞く方も感動せずにはいられませんでした。感謝の気持ちと日本に対する愛情が、日本語学習への熱意に結びついているのではないでしょうか。40歳の息子をちゃん付けて呼ぶのはおかしいとか、優しいお年寄りが多く彼らの役に立つためにヘルパーの資格を取ったとか、日本ではまだまだ使えるものをゴミに出しているの、ゴミをベトナムに送れば、ベトナムの生活が豊かになって両国ともに良いのではなど、普段気づかないことを指摘されたり、感心したりなかなか興味深いひと時でした。日本とは違い、アジアの多くの国々では自由な海外渡航は、まだ限られた人だけにしか許されていません。それだけに、機会を得て来日している皆さんは、その貴重なチャンスを十分に生かし、多くのことを吸収して将来に生かしたいという熱意に溢れているようです。慣れない環境の中、勇気と熱意をもって精一杯生きている彼らに、新たなエネルギーをもらいました。



ホン・ペイリンご夫妻 (台湾)



マイ・タイン・ビンさん (ベトナム)



石本・バグワティーさん (ネパール)



ユランゴ・メリー・アンさん、ジェヴィ・デラ・クルスさん、
ジェルリン・エスピリッツさん (フィリピン)



ニュー・ティ・ランさん (ベトナム)



大田 千秋さん (タイ)



レー・ミン・ブオンさん (ベトナム)



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
4月	Apr	3・10・17・24	5・12・19・26	7・14・21・28
5月	May	8・15・22・29	10・17・24・31	12・19・26
6月	Jun	5・12・19・26	7・14・21・28	9・16・23・30

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00
千代田公民館 2階
火曜日 Tuesdays 10:00~11:45
市民交流センター (KICCS) 3階
木曜日 Thursdays 18:00~20:00
ノバティ南館3階 ノバティホール

●語学クラブ スケジュール

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	スペイン語 (初級)	
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	
開講日	4月	9	12・26	5・19	1・15
	5月	14	10・24	3・17	6・20
	6月	11	14・28	7・21	3・17

平成28年度
受講生
募集中!

■河内長野市国際交流協会 総会

平成28年度総会を開催いたします。

日 程：5月8日(日)

第1部 総会 11:00～12:00

昨年度の活動・決算報告と今年度の事業・予算について

場 所：市民交流センター3階 中会議室



第2部 講演会 14:00～16:00

「国旗から見える世界の国々」

各地でご活躍の吹浦 忠正氏 (NPO 法人ユー
ロシア 21 研究所理事長、認定NPO法人難民を
助ける会特別顧問) に、国旗にまつわるお話を
させていただきます。



(講演会は、くろまる塾認定講座で、
一般の方にもご参加いただけます)



場 所：市民交流センター4階 イベントホール

参加費：会員・高校生以下 無料、一般 500円

定 員：先着280名

申込み：電話またはメールで事務局まで (4月5日から受付)

■姉妹都市カーメル市民との交流会

アメリカ インディアナ州 カーメル市から学生たちが当市を訪れ
ます。今年は、折り紙クラフトを作成するワークショップでの活動
を通じて交流の機会を持ちたいと思います。準備の都合がありま
すので、参加ご希望の方は、お申し込みをお願いいたします。

日 時：7月17日(日)

13:30～16:30

場 所：市民交流センター3階

大会議室

参加費：無料

定 員：先着50名

申込み：電話またはメールで
国際交流協会事務局まで
(7月5日から受付)

★カーメル国際
アートフェスティバル
参加者募集！

姉妹都市カーメルで9月24日、25日に開催
されるアートのお祭りにあなたも参加して
自分の手作り作品などを販売し、
市民と交流しませんか？
応募方法などは、市の
広報誌5月号をご覧ください。

■ヤングアメリカンズ



アメリカの若者たちが音楽とダンスを通じて自分の可能性と向
き合い成長するチャンスを提供します。3日間のワークショップで、
ひと回りもふた回りも大きくなる子供たちの成長が楽しみです。
最終日の5月1日には、3日間の成果をショーで発表します。

日 程：4月29日、30日、5月1日(3日間)

場 所：ラプリーホール

参加費：18,000円

定 員：先着200名

主 催：じぶん未来クラブ

内容の詳細やお申し込み方法、
ホストファミリーの募集については、
主催者のサイトをご覧ください。

KIFAでは、5月1日のショーのチケット(1,000円)の発売を行います。
お問い合わせは、KIFA事務局までお願いいたします。

■問い合わせ・申込み
河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

コース	中国語 (初級)	中国語 (入門)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00~20:30	19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	4月	1・15	8・22	13・27	13・27
	5月	6・20	13・27	11・25	11・25
	6月	3・17	10・24	8・22	8・22

日本を全部包んで国に持って帰りたい



ニュー・ティ・ラン (ヴェトナム)

皆さん今日は。私はランと申します。ヴェトナムから来ました。河内長野の会社の実習生です。さて日本と言えば世界で3番目の経済大国で、先端技術があり科学も発達しています。富士山や新幹線は大変有名で世界の人たちが知っています。日本に初めて着いた日は当たり前のことですが日本のことを知らない私には全てがおどろきでした。私が住むことになる所は周りが山で、小さい家がたくさん建っていたので、本当のことを言うと少しがっかりしました。でも部屋に入ってびっくりしたのは部屋は小さいですが完璧に家具がそろっていたのです。エアコンや冷蔵庫や洗濯機など何でもあり、「素敵なお部屋だな」って、思わず独り言を言っていました。

3年の約束で来た日本では奈良や三重、和歌山などに行きました。大阪城や奈良公園やなばなの里が印象に残っています。私は日本が大好きです。春は桜が咲いて、みんなでお花見をしてご機嫌になれます。夏は祭りの季節で、秋は木々が紅葉し、冬には雪が降ります。私の国にはこのような四季はありません。日本は本当にすばらしい国です。



私の国にはまだまだ多くの克服しなければならない問題があります。現在のヴェトナムは日本の30年から50年くらい前みたいだと思います。日本に来て便利なものばかり知ってしまったので、私の国にもあったらいいなと思うものがたくさんあります。日本を全部風呂敷に包んで持って帰りたいです。

でも私は日本の生活だけが好きなのではなくて、日本人も大好きです。日本人はいつも一所懸命で凄く親切です。日本に来てまだ何もわからなかった時から、いっぱい優しい人たちに会うことができ大変お世話になりました。色々なことを教えてくれたり、遊びに連れて行ってくれたり、病気になった時は心配して、病院にも連れて行ってくれました。もうすぐ私の日本での3年は終わります。私は日本にいられて本当に恵まれていました。帰国してもずっと心で日本とつながっていたいと思っています。



ネパールの子供たちに 文房具を送りました



こんにちは。文房具を送っていただきありがとうございます。KIFAの皆さんは、私たちの仲間です。



昨日、地震被災者のシェルターにいる子供たちに届けました。36人の女の子たちそれぞれに4冊のノートと2本の鉛筆、それに定規を配りました。受け取った子供たちはとても嬉しそうでした。彼らは私にお礼を言ってくれ、またKIFAの皆さんには特別に感謝しています。

彼らが、この贈り物をくれたのは誰なのかと聞きますので、KIFAの事など説明しました。そして彼らはあらためて皆さんにありがとうと言っています。受け取った子供たちの写真を添付します。

ラトナ・カジ・ダンゴール
ネパール・ライト・ハウス所長
カトマンズから

編集後記

毎年、桜の季節になると思い出します。生まれ育った町の城跡に、6千本もの桜がいっせいに咲くのです。お城の石段を上へと登っていくと、花いっぱい夢のような世界が広がっていました。高校と大学の学び舎も城跡のすぐ下であり、教室の窓からピンクに染まった山をうっとり眺めていたものでした。

あれからウン十年、夢見る乙女は今や花より団子の「浪速の母」になってしまいました。

Annie



無料
メールマガジン
配信中!

KIFAの楽しいイベントや情報を、いち早くお知らせします。お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから。

<http://www.kifa-web.jp/>